

大阪市立図書館90周年・中央図書館50周年記念
国際森林年企画



ようこそ

書物の森へ

—大阪市立図書館司書101人が選んだ101冊の本—



平成23年11月1日
大阪市立図書館

ごあいさつ

昨年は「国民読書年」として、大阪市立図書館では「One Book One OSAKA」事業や、中央図書館での「2010 国民読書年展」など読書推進の事業を実施してまいりました。これを契機として、引き続き、読書推進、読書の活性化を一層図ってまいります。

また、本年は、1921年（大正10年）6月に本市初の阿波座図書館、西野田図書館が開館してちょうど90年となる記念すべき年でもあります。また、1961年（昭和36年）11月に中央図書館が開館して50年でもあります。これを記念する事業の一つとしてこの「ようこそ書物の森へ」事業を企画いたしました。

さらに、本年は「国際森林年」であることから、書物は森のように豊かで、人の生活や生命を支えていることを、本を紹介しつつPRいたしたいと考えたところです。

この「ようこそ書物の森へ」では、大阪市立図書館司書職員101名が一人1冊ずつテーマに沿って特に薦める図書を紹介いたしております。市民のみなさまの読書の一助になれば幸いです。


平成23年11月1日

大阪市立中央図書館

凡例

1. この目録は、これまで出版された図書の中から成人書、児童書ともども、大阪市立図書館司書職員 101 名が「書物の森」というテーマに沿って特に薦める本を選んだものです。
2. ここに掲載した図書は、全部で 101 タイトルあります。
3. 図書は、以下の 7 つのテーマに分けて紹介します。ジャンルの中は、成人書、児童書に分け、図書分類順に並べています。
 - ぬくもりの森
 - みちびきの森
 - いのちの森
 - つながりの森
 - はぐくみの森
 - 創造する森
 - 時を刻む森
4. 図書に関する記載事項は、表紙画像、書名、(副書名)、請求記号、編著者名、訳者名、画家名、発行所(発売元)、大阪市立図書館書誌番号(書誌 ID)、紹介文の順となっています。表紙画像は使用許可が得られたものを掲載しています。また、請求記号については、中央図書館所蔵の場合はその請求記号、中央図書館に所蔵がないものは地域図書館の請求記号を記載しています。紹介文の最後には紹介した職員のイニシャルを記載しています。
5. 巻末の索引は、書名の 50 音順になっています。
6. 紹介文については、職員の個性をそのまま表現することとし、統一した文体、文章としていません。

子どもむけ本のマーク

表紙画像	書 名□ -副書名-		*  *	【請求記号】
	著者名□	発行所□	(書誌ID)	
	紹介文○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○ [職員名イニシャル]			

目次

ぬくもりの森 … 心があたたかくなる本

イニユニック ー生命ー	星野道夫	…8
巴里の空の下オムレツのにおいは流れる	石井好子	…8
奇蹟の画家	後藤正治	…8
きょうの猫村さん 1	ほし よりこ	…8
いとしい漫才の世界	喜味こいし、戸田 学	…9
通勤電車によむ詩集	小池昌代	…9
富士日記 上・中・下	武田百合子	…9
インド綿の服	庄野潤三	…9
時の旅人	アリソン・アトリー	…10
長い長いお医者さんの話	カレル・チャペック	…10
大きな森の小さな家	ローラ・インガルス・ワイルダー	…10
アンジュール	ガブリエル・バンサン	…10
すてきな三にんぐみ	トミー=アンゲラー	…11
花さき山	斎藤隆介、滝平二郎	…11
よあけ	ユリー・シュルヴィッツ	…11
おおきな木	シェル・シルバースタイン	…11
ぼちぼち いこか	マイク=セイラー、ロバート=グロスマン	…12
これはのみのぴこ	谷川俊太郎、和田 誠	…12
ごろはちだいまようじん	中川正文、梶山俊夫	…12
ちいさいおうち	ばーじにあ・リー・ばーとん	…12
あがりめさがりめ	ましま せつこ	…13

みちびきの森 … 知らない世界にみちびいてくれる本

思考の整理学	外山滋比古	…15
幸福のリアリズム	犬養道子	…15
46年目の光	ロバート・カーソン	…15
生命と地球の歴史	丸山茂徳/著、磯崎行雄	…15
人類の月面着陸はあったんだ論	山本 弘ほか	…16
光が照らす未来	石井幹子	…16
禁じられた歌	八木啓代	…16
メタファー思考	瀬戸賢一	…16
ポケット詩集 1・2・3	田中和雄	…17
デルフィニア戦記 全18巻	茅田砂胡	…17

銀河英雄伝説 1	田中芳樹	…17
鷹・久坂葉子伝	富士正晴	…17
高熱隧道	吉村 昭	…18
さよなら妖精	米澤穂信	…18
ケーブ・ベアの一族 上・下	ジーン・アウル	…18
ウォッチャーズ 上・下	ディーン・R・クーンツ	…18
夢を掘りあてた人	ヴィーゼ	…19
二十一世紀に生きる君たちへ	司馬遼太郎	…19
光車よ、まわれ！	天沢退二郎	…19
ようこそ、おまけの時間に	岡田 淳	…19
ゲド戦記 1	アーシュラ・K. ル=グウィン	…20

いのちの森 … いのちの大切さを教えてくれる本

「雲」の楽しみ方	ギャヴィン・プレイター=ピニー	…22
分娩台よ、さようなら	大野明子	…22
海中顔面博覧会	中村征夫	…22
メメント・モリ	藤原新也	…22
聖の青春	大崎善生	…23
永遠の0(ゼロ)	百田尚樹	…23
屋久島	青山潤三	…23
光草(ストラリスコ)	ロベルト・ピウミーニ	…23

つながりの森 … 人間関係や絆(きずな)についてあらためて考える本

ファミ通町内会：1986～2000		…25
鶴見良行著作集 9 ナマコ	鶴見良行	…25
〈民主〉と〈愛国〉	小熊英二	…25
クラスでケータイ持っていないの僕だけなんだけど	高橋章子	…25
動物園革命	若生謙二	…26
ひつじがすき	佐々倉裕美、佐々倉実	…26
綾戸智恵、介護を学ぶ	一志治夫	…26
『夫婦善哉』『アド・バルーン』	織田作之助	…26
鼠	城山三郎	…27
蝉しぐれ	藤沢周平	…27
船に乗れ！ 1・2・3	藤谷 治	…27
妖女サイベルの呼び声	パトリシア・A・マキリップ	…27
ともだちは海のおい	工藤直子、長 新太	…28
ラモーナとおかあさん	ベバリイ・クリアリー、アラン・ティーングリーン	…28
団圓	余麗琮、朱成染	…28
イモムシかいぎ	市居みか	…28
しろいうさぎとくろいうさぎ	ガス・ウィリアムズ	…29
あるはれたひに	きむら ゆういち、あべ弘士	…29

はせがわくんきらいや	長谷川集平	…29
はたらきもののじよせつしゃけいていー	ばーじにあ・リー・ばーとん	…29

はぐくみの森 … 子育てなど子どもの成長に関する本

えほんのせかいこどものせかい	松岡享子	…31
子どもと楽しむ「遊び」のヒント	早未恵理	…31
センス・オブ・ワンダー	レイチェル・カーソン	…31
家族の笑顔が見たいから	堀江ひろ子	…31
大丈夫やで	坂本フジエ	…32
私は赤ちゃん	松田道雄	…32
小さなユリと（現代の詩人 4黒田三郎 所収）	黒田三郎	…32

創造する森 … 新しいことに力を注いだ本やこれまでにない発想で書かれた本

大阪の橋ものがたり	伊藤 純ほか	…34
はじまりは大阪にあり	井上理津子	…34
春夏秋冬	香月泰男、谷川俊太郎	…34
修復士とミケランジェロとシスティーナの闇	青木 昭	…34
私は虫である	熊田千佳慕	…35
和を継ぐものたち	小松成美	…35
色々な色	ネイチャー・プロ編集室	…35
オーケストラ、それは我なり	中丸美繪	…35
米朝よもやま噺	桂 米朝	…36
人が見たら蛙に化(な)れ	村田喜代子	…36
詩のこころを読む	茨木のり子	…36
じごくのそうべえ	田島征彦	…36

時を刻む森 … 時間の重みを感じさせる本や歴史に学ぶ本

ローマ人の物語 1	塩野七生	…38
新編愛情はふる星のごとく	尾崎秀実、今井清一	…38
森琴石と歩く大阪	熊田 司、伊藤 純	…38
散歩のとき何か食べたくなって	池波正太郎	…38
昭和が明るかった頃	関川夏央	…39
西夏文字	西田竜雄	…39
大阪おもい	坪内祐三	…39
柿の種	寺田寅彦	…39
人生はうしろ向きに	南條竹則	…40
西行花伝	辻 邦生	…40
村田エフェンディ滞土録	梨木香歩	…40
イギリスとアイルランドの昔話	石井桃子、J・D・バトン	…40

書名索引

めくもいの森

森には陽だまりがあります。

心があたたかくなる本をここでは紹介します。





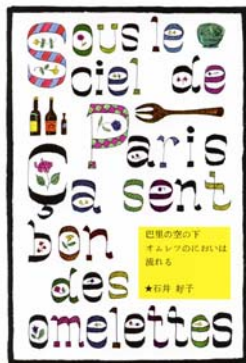
イニユニック -生命-

【295.4//1993】

星野道夫 著 新潮社

(0000684160)

氷河と原生林に囲まれた海にクジラを追い、カリブーの季節移動を求めて、たった一人原野にテントを張る。アラスカの自然を愛し、人々に心を惹かれ写真家となった著者が遺した旅の記録。生命の不思議に思いを馳せながら、野生動物を撮り、友人達とのエピソードを交えて綴られた本書は、彼の優しい眼差しが随所に表れ、美しい文章と共に心に残る。〔T〕



巴里の空の下オムレツのにおいは流れる

【596//1983】

石井好子 著 暮しの手帖社

(0070094164)

「台所から流れるフライパンにバターがとけ卵がこげてゆく匂い、それは台所で歌われている甘くやさしいシャンソンではないだろうか。」1950年代のパリでシャンソン歌手としてすごした著者が、その生活をつづったエッセイ。文中紹介される数々の料理はどこか懐しく、物の豊かな現代とは違う時代の空気が伝わってくる。本書のレシピ版が扶桑社から出ている。〔Y〕



奇蹟(きせき)の画家

【723.1】

後藤正治 著 講談社

(0011983455)

神戸の下町にひっそりと暮らし、童女のような女神の絵を無心に描き続けた清貧の画家石井一男。本書は、画商・島田誠との出会いによってその絵が世に知られるようになったいきさつと、二人の深い交流をつづったノンフィクションだ。彼の絵によって心救われた人々の感動的なエピソードも興味深い。安らかな表情の女神の絵に、疲れた心も癒される。〔N〕



きょうの猫村さん 1

【Mホシ】

ほし よりこ 著 マガジンハウス

(0011022398)

猫だけど、鼻歌まじりにする家政婦のお仕事は天下一品の猫村ねこ。お世話好きで人の事に首をつっこみすぎるきらいがありますが、窮地にたたされると体をべろべろなめたり、猫舌なのでぬるいお茶が好きだったり、時々猫の習性が出るのがご愛嬌(あいきょう)で笑えます。どんな事にもひたむきになる姿が味のある鉛筆画で、温かく描かれています。〔K〕



いとしい漫才の世界

【779】

喜味こいし、戸田 学 共編 岩波書店

(0010832703)

鉛筆をなめながらメモを取る「交通巡査」や、二人で手を重ねてハンバーガーを作る「ファーストフード初体験」など、代表作15本が口演をもとに書き起こされており、いとこい漫才を文字で楽しむことができる。また“間の標準は15分の1秒”“口の開き方が95～97%”など、あえて分析した章もおもしろく、二人の軌跡も丁寧に記された、盛りだくさんな一冊。〔N〕



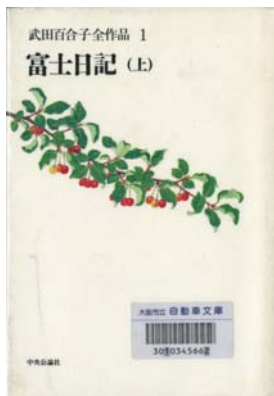
通勤電車でよむ詩集

【908.1】

小池昌代 編著 日本放送出版協会

(0011931014)

あまり重くも厚くもなく、持ち運びに便利な、それでいて、毎日を生きる力を与える詩集。自身も詩人である著者が、国も時代も異なるさまざまな詩を紹介しています。愛も孤独も喜びも悲しみも、何だってある広くて深い詩の森へ、電車で揺られて、出かけてみませんか。〔I〕



富士日記 上・中・下

(武田百合子全作品 1・2・3)

【Eタケタ】

武田百合子 著 中央公論社

(0000431802、0000423610、
0000424285)

公表されるとは夢にも思わずにつけ続けた、富士山麓の山荘での日記が、編集者の目にとまり、出版された。おいしいもの、楽しいものには喜び、理不尽なことには顔をしかめる。その素直で飾らない文章は、愉快なだけではなく、毎日をいきいきと生きるとはこういうことだったと思わせてくれる。〔S〕



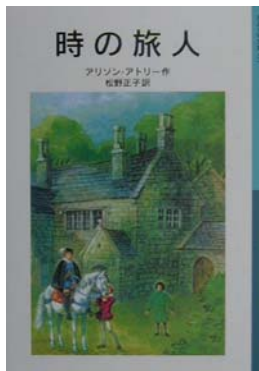
インド綿の服

【Fショウ/イン】

庄野潤三 著 講談社

(0070002984)

足柄山に引越した長女から一家の暮らしぶりを伝える便りが届く。「まったく何をいいたすやわからない」性分の長女の手紙に著者夫婦は驚いたり喜んだり。生みたて玉子、童話の本、孫の手、グレープフルーツ、お手製のインド綿の服などささやかな贈り物も行きかい日常に彩りを添える。こまやかな愛情に満ちたかけがえのない日々を丹念に描く。〔S〕



時の旅人



【Nアトリ】

アリソン・アトリー 作 松野正子 訳
岩波書店

(0050161827)

病気療養のため、大おじさんの農場を訪れた少女ペネロピーは、300年前にタイムスリップし悲劇的な歴史の大事件に巻き込まれます。彼女は、現在と過去を往復し、農園の愛情あふれる住人たちと暮らす一方、遙か昔の人々と心通わせます。イングランドの美しい自然を背景に、哀しくも優しい余韻を残す物語が描かれています。〔K〕



長い長いお医者さんの話



【Nチャヤへ】

カレル・チャペック 作 中野好夫 訳
岩波書店

(0000809443)

魔法使いが、弟子をどなりつけようとして、ウメの種をのどに詰まらせてしまう。連れてこられた4人の医者は、ウメの種もそっちのけに、自分が診た風変わりな患者の話や次々と語る表題作。宛名のない手紙を届けようと、郵便配達員が国中をたずねまわる「郵便屋さんの話」など。チェコの国民的作家が描いた、おおらかでユーモアたっぷりの童話集。〔A〕



大きな森の小さな家



【Nワイル】

ローラ・インガルス・ワイルダー 著
恩地三保子 訳 ガース・ウィリアムズ 画
福音館書店

(0000231787)

今から140年ほど前、北アメリカに広がる大きな森の小さな家に、ローラという女の子が住んでいました。父さんと母さんの愛情に満ちた家での暮らしは、楽しいことがいっぱいです。厳しくも豊かな大自然の中の生活が、ローラの目を通して生き生きと描かれます。作者と家族の思い出をつづった「インガルス一家の物語」の第1作目です。〔T〕



アンジュール —ある犬の物語—



【Pウアン】

ガブリエル・バンサン 作 B L出版

(0010037279)

車から一匹の犬が放り出される場面から物語は始まる。走り去る車を必死で追いかける犬の姿に思わず引き込まれ、追いつけず立ち尽くす犬の後ろ姿から目が離せなくなる。

鉛筆によるデッサン画のみのこの絵本には色も文字もないが、絵を見た誰もが見知らぬ土地をさすらう犬の孤独を痛いほど感じ、物語の最後の出会いにほっとするだろう。〔A〕



すてきな三にんぐみ



【Pウンケ】

トミー＝アンゲラー さく
いまえよしとも やく 偕成社

(0000229962)

黒いマントに黒い帽子のこわい泥棒三人組。ある夜、襲った馬車に乗っていたのは孤児の女の子だけ。えもの代わりにだいじにかかえて隠れ家につれて帰りますが……。恐ろしげに始まり、意表をつく展開にどきどきし、心温まる結末にほっと、親子で楽しめます。〔M〕



花さき山

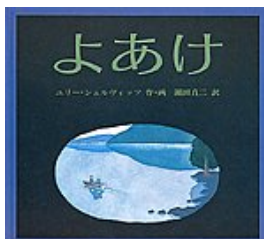


【Pサイト】

斎藤隆介 作 滝平二郎 絵 岩崎書店

(0000183446)

山菜つみに出かけたあやは、見たこともない花々が咲く山に迷い込む。そこに現れたやまんばは、驚くあやに言う。「やさしいことをすれば花がさく。ここの花はみんなこうして咲いた」。無私の心というものの本質を、花が咲くことになぞらえた美しい物語。ゆったりとした方言の語りと黒の描線に映える柔らかな色調が、心を穏やかにする。〔M〕



よあけ

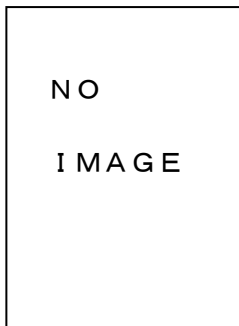


【Pシユル】

ユリー・シュルヴィッツ 著 瀬田貞二 訳
福音館書店

(0000231838)

夜の闇が少しずつ夜明けの明るさに変化していく様を描写した絵本。その場に自分がいるかのように、空気や匂い、音までも感じられるような繊細な絵が印象に残る。唐詩「漁翁」（詩人柳宗元作）をもとにしたというこの絵本は、どこか東洋的な神秘性や叙情性が感じられる。〔A〕



おおきな木



【P/オオ】

シェル・シルヴァスタイン さく・え
ほんだ きんいちろう やく 篠崎書林

(0000179700)

りんごの木と男の子は仲良しでした。けれども、少年は成長するにつれお金や家を欲しがるようになります。りんごの木は自分の実や枝を持っていくように言い、ついには切り株だけになります。木が与え続ける無償の愛に、胸をうたれます。白黒のシンプルな描線の絵からは、ただ二人でいることの幸せがしみじみと伝わってきます。〔U〕



ぼちぼちいこか



【Pセイラ】

マイク・セイラー さく ロバート・グロスマン (0000193128)
え いまえ よしとも やく 偕成社

主人公のカバ君は重量級。パイロットやピアニストなどさまざまな職業につきますが、いつも失敗してばかりで、「どないしたら ええのんやろう」と悩みます。ユーモラスな表情と、大阪弁で書かれた文章が楽しい絵本です。「あせらず、自分らしくやっていこうよ」というカバ君からのメッセージに癒されます。〔K〕



これはのみのぴこ



【Pタニカ】

谷川俊太郎 著 和田 誠 絵 サンリード (0070020137)

「これはのみのぴこ」で始まるつみあげうたの絵本。昔話でよくある言葉遊びの一種だが、詩人である作者にかかると、「せんきよでえらんだしちょうの いればつくったはいしゃさん」といった今風で思いがけない展開が広がる。和田誠による愉快的な絵が右に、文章は左に配される。手書き風の文字は言葉が増えていくのが一目瞭然で、ページをめくる喜びが楽しめる。〔T〕



ごろはちだいまようじん



【Pナカカ】

中川正文 さく 梶山俊夫 え (0011402362)
福音館書店

「ごろはちだいまようじんいうても、かみさんのことやないたぬきのはなしや。」軽妙な語り口でおはなしがはじまります。だましたり、いたずらしたりして村人を困らせています。村に鉄道がとおることになり、音をたて煙をはいて汽車がきます。ごろはちがばけた汽車と思い飛び出す村人たち。なんだかにくめないごろはちの余韻が残ります。〔I〕



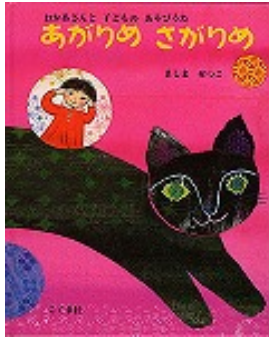
ちいさいおうち



【Pハトン】

ばーじにあ・リー・ばーとん ぶんとえ (0010376695)
いしい ももこ やく 岩波書店

ちいさいおうちは、静かな田舎で木々や畑にかこまれて幸せでしたが、道ができ、地下鉄が走り、ビルの建ち並ぶ街の中に、ひとり取り残されてしまいます。やがて、ちいさいおうちは、また四季のある静かな田舎に移ることができました。丹念に描きこまれた絵と優しさの伝わってくる文章で、心に穏やかな満足感を与えてくれる絵本です。〔I〕



あがりめ さがりめ

—おかあさんと子どものあそびうた—



【Pマシマ】

ましま せつこ 絵 こぐま社

(0000376403)

なつかしくて、だれでも知っている「だるまさん」「ちょち ちょち あわわ」など、あそびうたの振りを描いた絵がユーモラスです。千代紙でコラージュしているのでしょうか、柄も色もおしゃれ。見てよし、声を出して読んでよし、カラダを動かしてもよしと、3倍楽しめる絵本です。出産祝いに添えると、喜ばれますよ。〔H〕

みちびきの森

森にはどこへ続くかわからない不思議な道があります。

知らない世界へみちびいてくれる本をここでは紹介します。





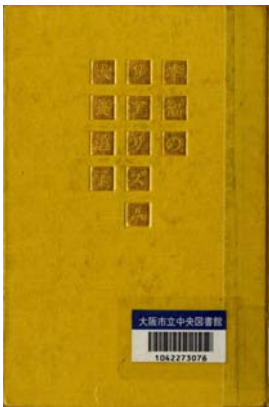
思考の整理学

【141.5//1986】

外山滋比古 著 筑摩書房

(0011573029)

高校時代に手に取ってからずっと自分の書棚にあり、今でもなにかと出番の多い一冊。「ものを考える」とはどういうことかを教えてくれる。どの項目も簡潔な文章で書かれており、整理学とはいっても柔軟さを含んでいる。何度読み返しても飽きることがない。段取りや手段を書いた整理術とは、少し違う趣を楽しめる本としてお薦めする。〔R〕



幸福のリアリズム

【151//1980】

犬養道子 著 中央公論社

(0070002706)

幸福を求めるなら、自らを解放し、むやみに恐れず、心中を整理すること。例えば、双眼鏡的に考えて問題点を書き出す。すべての心配事は、夜 10 時になったら心の中の「夜間冷蔵庫」にぶちこんで朝まで出さない。宗教者としての視点も多い随筆だが、身近な経験から説き起こしてゆくスタイルが著者の真骨頂であり、説得力がある。〔N〕



46年目の光

—視力を取り戻した男の奇跡の人生—

【Bメイ】

ロバート・カーソン 著 池村千秋 訳

(0011909175)

NTT 出版

3歳で失明したマイクは、「視力のない人生もすばらしい」と言えるほど充実した日々を過ごしていた。46歳の時、幹細胞移植による手術を受け視力を取り戻す。だが、見た物を認識する困難に直面した。何事も前向きに取り組む姿は、「生きる」ことの意義を考えさせられる。また視覚と脳のメカニズムもわかりやすく解説され興味深い。〔H〕



生命と地球の歴史

【450】

丸山茂徳、磯崎行雄 共著 岩波書店

(0000656357)

「我々は、なぜ宇宙に存在しているのか」という永遠の命題が存在する。解答はもちろん困難であるが、本書は惑星地球の誕生から、生命の発生・進化までを統一的に説明しようと試み、それにかかなり成功していると思う。刊行後 15 年を経過して類書も増えたが、未だ色褪せてはいない。〔S〕



人類の月面着陸はあったんだ論

—と学会レポート—

【538. 9】

山本 弘、植木不平等、江藤 巖、志水一夫、 (0011102078)
皆神竜太郎 著 楽工社

「人類は月に行っていない」過去にそのような番組が放送され、信じた人も多数出た。この本では「月着陸のねつ造の証拠」とされるものを検証し、その間違いをあばいていく。そしてメディアにだまされないためにも、自分で調べ、考えることの必要性、正しい科学知識を学ぶことの大切さを、時にユーモラスに、時に辛らつに説く。〔S〕



光が照らす未来 —照明デザインの仕事—

【545. 6】

石井幹子 著 岩波書店 (0012172560)

姫路城やセーヌ川にかかる橋のライトアップなどを手がけた国際的な照明デザイナーである著者が、自身の半生を若い人に向けて語る。大学でのデザインの勉強、ヨーロッパのデザイン事務所での仕事、日本各地を自費でライトアップしてまわったことなど興味深い体験が書かれている。新しい世界を切り開いてきた著者の希望あるメッセージに勇気づけられる。〔H〕



禁じられた歌 —ビクトル・ハラはなぜ死んだか— 【764. 7//1991】

八木啓代 著 晶文社 (0000140131)

著者は中学時代、ラジオから流れた中南米音楽に魅せられた。しかし欧米以外の国やそこに暮らす人々の情報は少ない。かくして著者は外国語大学に進学後、現地に直接飛び込んでその歌・歌手の魅力やその背景にある歴史・文化・社会を自分の目と耳そして肌で確かめていく。欧米流の視点とは異なる価値観で語られる人と歌・政治の関わり方が興味深い。〔M〕



メタファー思考 —意味と認識のしくみ—

【801. 6//1995】

瀬戸賢一 著 講談社 (0000445745)

「たこ焼」に「たこ」が入っていなければ文句が言えるが、「たい焼」に「たい」が入っていないからといって文句を言うことはできない（本文例より）。同じ「〇〇」焼なのに？

身近な例による解説で、ふだん使用する表現にいかに無意識に共通認識とされるメタファー（見立て）が含まれ、私たちの思考手段として大きな役割を担っているかに気付く。〔N〕



ポケット詩集 1・2・3

【911.56/タナカ】

田中和雄 編 童話屋 (0000709751、0010173088、0010851202)

読むとだんだん元気になれる井上ひさしの『なのだソング』、父と幼子の微笑ましい日常を描いた黒田三郎の『夕方の方三十分』、関西弁のユーモアあふれる阪田寛夫『葉月』、たった2行の三好達治『雪』など、新旧とりどり100以上の詩が収められ、言葉の持つ美しさや強さが伝わってくる。詩を初めて読むひとにもすすめられる1冊。〔A〕



デルフィニア戦記 全18巻

1巻【Fカヤタ/ホウ】

茅田砂胡 著 中央公論新社

(1巻：0000356588)

前国王の庶子だったため追放された若き国王ウォルと異世界から落ちてきた謎の少女リィが出会い、物語は始まる。王位の奪還、隣国との戦い、暗殺集団との戦い等を通して、ウォルとリィを中心とした多くの魅力的な人物が活躍する姿を描いたファンタジー小説。全18巻。前向きな登場人物たちに、元気をもらえること間違いなし！〔I〕



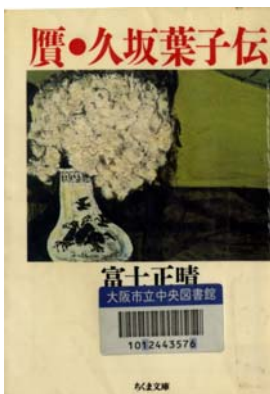
銀河英雄伝説 1 黎明編 (れいめいへん)

【文庫本/Fタナカ】

田中芳樹 著 東京創元社

(0011367570)

「この国は自由の国です。起立したくないときに起立しないでよい自由があるはずだ」戦没者慰霊祭でひとり着席していることを非難されたヤン准将の言葉は、読後20年以上経ても記憶に鮮明だ。民主主義を掲げる自由惑星同盟(フリー・プラネッツ)と皇帝が支配する銀河帝国が争いを続ける遠未来、両陣営に傑出した軍略家が現れ歴史は大きく動き出す。全10巻の濃密な人間ドラマの幕開き！〔T〕



贗・久坂葉子伝

【Fフシ/ニセ】

富士正晴 著 筑摩書房

(0000436217)

久坂葉子、作家。神戸出身 1952年21歳で鉄道自殺。久坂が参加した同人誌の同人として生前の彼女を良く知る著者は、精一杯生きて死んだ彼女を記録することを己の努めとした。生前の久坂と死後の語り手という構造の中で、彼女の生き様一生き、作り、愛し、挫折(ざせつ)した一を解き明かしてゆく。『桂(かつら)春団治』と並ぶ著者の伝記小説の代表作である。〔Y〕



高熱隧道 (ずいどう)

【文庫本/Fヨシム】

吉村 昭 著 新潮社

(0012122980)

黒部第四ダム工事は有名だが、実は戦前の第三ダム建設こそ地獄の難工事であった。日本屈指の豪雪地帯でありながら、岩盤内には超高温の温泉が噴出する。工事中の死者は数百人にのぼるが、泥沼化する日中戦争という背景が中止を許さない。それを完遂に導いたのは、技術文明の光か、暗く熱い人間の業(ごう)か。異様な迫りに満ちた記録小説である。〔K〕



さよなら妖精

【文庫本/Fヨネサ】

米澤穂信 著 東京創元社

(0011225033)

1991年、高校生の守屋は、雨宿りをしていたユーゴスラヴィヤ人の少女マーヤと出会う。守屋やその友人たちと仲良くなった彼女は、日本の様々な風習についてことあるごとに守屋たちに質問を投げかけてくるが、故郷で紛争が始まったため帰国してしまう。日本の平凡な高校生が経験した別れの物語。後に数多くの傑作を生み出した著者の初期の傑作。〔I〕



ケーブ・ベアの一族 上・下 (エイラ 地上の旅人 1・2)

【Nアウル】

ジーン・アウル 著 ホーム社

(0010835332、
0010835333)

紀元前3万5千年、大地震で一人取り残されたクロマニオン人の少女エイラは、ネアンデルタール人の一族に拾われる。種族の違いによる差別や厳しい自然環境の中で成長し、やがて自分と同じ種族の仲間を探して旅する。想像を絶する苦境にあっても、勇気と知恵を持って生き抜こうとするエイラの姿に強く励まされる。本書から第5部13巻まで続くシリーズ。〔M〕



ウォッチャーズ 上・下

【Nクンツ/ウオ】

ディーン・R・クーンツ 著 松本剛史 訳
文藝春秋

(0000317142、
0000317143)

孤独な男・トラヴィスが、偶然森で出会った不思議な犬「アインシュタイン」。二人の友情を軸に、過酷な運命との戦いを描きます。その頭脳に隠された秘密は？執拗(よう)に追いかけてくる影の正体は？謎(なぞ)が解き明かされていくくだりは、ジェットコースタームービーさながら。極上のエンターテインメントを、どうぞお楽しみください。〔O〕



夢を掘りあてた人

—トロイアを発掘したシュリーマン—



【Bシュリ/ユメ】

ヴィーゼ 作 大塚勇三 訳 岩波書店

(0070059871)

この本には夢の実現に必要なものがすべて出てきます。貧しい牧師の家に生まれた男が、その方法も環境も整っていない時代に、自らの直感と情熱とで、一生をかけて伝説の遺跡を掘り当てた伝記物語です。小説よりドラマティックで、啓発書より前向きな気持ちになれます。大人になって読み返すと、夢にかかるお金も自前なのがすごいと改めて思います。〔N〕



二十世紀に生きるきみたちへ

—洪庵のたいまつ—

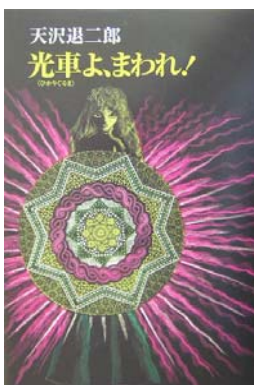


【Eシハ/ニシ/2001】

司馬遼太郎 著 世界文化社

(0000852254)

数々の歴史小説を残した司馬遼太郎が、国語教科書のために書き下ろした随筆です。「私は二十世紀のことなど、とても予測できない」としながら、子どもたちが未来を生きるうえで人と自然の歴史から学び、「何をなさなければならないのか？」を語ります。緒方洪庵の生涯を綴った『洪庵のたいまつ』とともに、簡潔で力強い文章は声に出して読みたくなります。〔A〕



光車（ひかりぐるま）よ、まわれ!



【Fアマサ】

天沢退二郎 著 ブッキング

(0010820420)

この世界を侵食する不気味な敵と戦うため、3つの光車を探す子どもたち。やがて彼らは一方の敵には勝利するが……。どこか毒をふくんだりリーダーの少女の言動や、悪意と敵意をもつ存在として国立図書館の建物が黒々とそそり立つ最後の場面が印象的。筑摩書房 1973 年刊の再刊。文庫化もされている。〔Y〕



ようこそ、おまけの時間に



【Fオカタ/ヨウ】

岡田 淳 作・絵 偕成社

(0070044911)

ちょっと引っ込み思案な小学生の賢が、ある日の授業中、12時のサイレンと共に瞬きすると、教室がいばらに包まれ、級友たちが眠っていた——現実とほんの隣り合わせのファンタジー。これは、私が物語の世界にひきこまれた最初の本です。すごい衝撃を受け、その後さまざまなおに出会うことができました。本の世界への扉を開いてくれたこの作品に感謝しています。〔Y〕



ゲド戦記 1 影との戦い



【Nルクイ】

アーシュラ・K. ル＝グウィン 著
清水真砂子 訳 岩波書店

(0011793578)

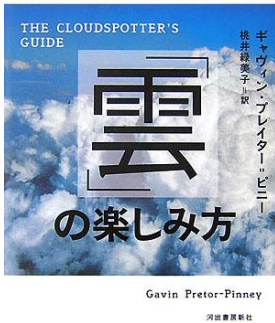
人並みはずれた能力で、魔法使いの学院でも一目置かれるようになった少年ゲド。彼はある時、死の世界から「影」を呼び出してしまう。不気味な「影」に追われ、追い、長い旅の果てに彼が得たものは。細やかな人物造形や緊迫した展開のなかに、世の真実を射抜く言葉がきらりと光る。ぜひこの壮大なファンタジーを読み進め、このあとのゲドの旅にも同行して欲しい。〔K〕

いのちの森

森では年月とともに生命が失われ、また新たな生命がうまれます。

いのちの大切さを教えてくれる本をここでは紹介します。





「雲」の楽しみ方

【451.6】

ギャヴィン・プレイター＝ピニー 著
桃井緑美子 訳 河出書房新社

(0011461493)

刻々と姿を変える雲は、とらえどころのないものの代名詞のように思われているが、気象学的には10種に分類できる。それぞれの種類の雲が、自然界にどのような影響を及ぼし、歴史上どのような役割を果たしてきたかを、ユーモアを交えて語った本。行間からあふれる著者の雲への限りない愛情に感化されたのか、気が付くと空を見上げることが増えていた。〔Y〕



分娩台(ぶんべんだい)よ、さようなら

—あたりまえに産んで、あたりまえに育てたい—

【495//1999】

大野明子 著 メディカ出版

(0000754557)

著者は自宅での出産に携わっていた産科医でした。妊娠経過、出産経過、お産のリスクなどが詳しく書かれており、お産のイメージをつかむのに役立ちます。自然に分娩するというのはなかなか難しいことですが、自分が納得できるよう、分娩施設を選ぶ際に、参考になる一冊です。〔M〕



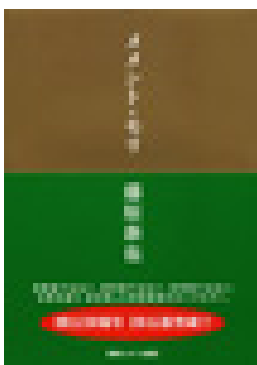
海中顔面博覧会

【748//1987】

中村征夫 著 情報センター出版局

(0000156531)

魚をはじめ海に暮らす生き物たちの、個性的ともいえる姿を満載した写真集。どこか人間くさくユーモラス、時に幻想的で色鮮やか——その造形の妙に驚かされ、何度眺めても見飽きることがない。「ボクの流し目」「オペラ歌手」など写真につけられたタイトルや解説も秀逸で、にやりとさせられる。ページをめくりながら海中散歩を楽しんでみてはいかがでしょうか。〔S〕



メント・モリ —死を想え—

【748//1990】

藤原新也 著 情報センター出版局

(0000206007)

「ニンゲンは犬に食われるほど自由だ」 そんな命をかけた重い自由が私たちの周りにあるだろうか。世界を放浪した著者が切り取った鮮やかなアジアの風景写真と、そこに添えられた短い言葉には、今の日本では希薄になった生と死が内包されている。1983年から再版を繰り返して、読み続けられている思索のロングセラーである。〔F〕



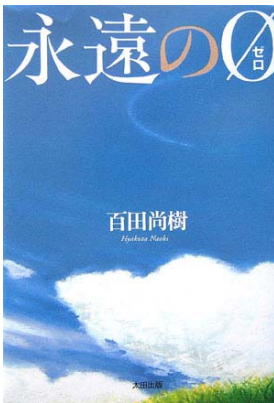
聖（さとし）の青春

【796】

大崎善生 著 講談社

(0000786873)

29歳でなくなった将棋の棋士 村山聖は幼少の頃から難病を患いながらも強い意思と集中力で名人位に手が届くところまで登りつめた。家族や師匠に支えられながら彼の青春は花開いていく。彼の純粹で熾烈（しれつ）な生き方から人は何のために生きるのか、どのように生きるのかと考えさせられる本である。〔S〕



永遠の0（ゼロ）

【Fヒヤク】

百田尚樹 著 太田出版

(0011267125)

司法試験に失敗し人生の目標を失いかけていた健太郎は姉とともに祖父の宮部久蔵について調べ始める。元戦友達から得た彼の姿は、優秀なパイロットでありながらも臆病者。生きて帰ることに執着した宮部とは一体どんな人物だったのか。私がまだ幼かったころ、不自由な左手で10枚もの便箋に戦争の記憶を綴（つづ）ってくれた祖父の姿が思い出され、胸が熱くなった。〔S〕



屋久島 —カラー版—



【402.9】

青山潤三 著 岩波書店

(0011755921)

屋久島といえば縄文杉などの屋久杉が有名ですが、島の魅力はそれだけではありません。亜熱帯から冷温帯まで、幅広い気候帯を有する屋久島では、実に様々な動植物が生息しています。屋久島固有種を含む多種多様な動植物を、カラー写真を多く交えて、主に植物を中心に紹介。世界遺産以外の屋久島の魅力を教えてください。〔M〕



光草（ストラリスコ）



【Nヒウミ】

ロベルト・ピウミーニ 作 長野 徹 訳
小峰書店

(0000705028)

日に当たることも、外の空気に触れることもできない不治の病の少年のため、画家は部屋の壁一面に絵を描きはじめた。山々や平原、町、大海原、生命あふれる草原……、少年と画家が心を通わせながら創る世界はどこまでも広がってゆく。詩情豊かに紡がれる「生と死」の物語は、哀しくもあるけれど、それ以上に優しさや美しさに満ちています。〔F〕

つながいの森

森では多くの生き物が集い、つながりをもって生きています。

人間関係や絆（きずな）についてあらためて考える本をここでは紹介します。





ファミ通町内会ー1986～2000ー

【049//2001】

エンターブレイン（発売）

(0010155436)

ゲーム雑誌『週刊ファミ通』の投稿欄を書籍化した本。とはいえ、掲載された作品はゲームと一切関係ないお笑いネタでいっぱい。独特のセンスは好みが分かれるだろうけど、ボンクラな自分にはこれらの投稿に何か共感できるものを感じてしまう。楽しい時はもちろん、つらい時や気持ちが落ち込んだ時など、この本には何度も助けられた。〔A〕



鶴見良行著作集 9 ナマコ

【081.6】

鶴見良行 著 みすず書房

(0000724071)

著者は『バナナと日本人』でフィリピンとの結びつきを明らかにし、『マンガローブの沼地で』エビを追ってアジアとのつながりを見た。辺境の海から貴人の食物に上りつめるナマコを求め20年間、南太平洋、東南アジア、東北アジアの海と歴史を歩き歩いて、出合った眼(マナコ)たちを語る。グーグルアースを手に地図を伸ばし縮め、迎るのも新鮮だ。〔T〕



<民主>と<愛国> ー戦後日本のナショナリズムと公共性ー

【210.76//2002】

小熊英二 著 新曜社

(0010404598)

かつて、民主と愛国の関係は、相反するものではなく、両立したものとして語られた。敗戦直後の丸山真男から70年代初頭の田中実まで、戦後の代表的知性のナショナリズムと公(おおやけ)をめぐる「言説」の変遷を、1962年生まれの著者が、時代の「心情」を通して読み解き再構成する。958頁の大著だが、文体はあくまで一般向きでわかりやすい。〔K〕



クラスでケータイ持ってないの僕だけなんだけど 【379.9】

高橋章子 著 朝日新聞出版

(0012005527)

投稿雑誌の元編集長の著者が、携帯電話を持ちたいと交渉する息子との攻防を、軽妙な語り口でつづる。塾通いの子どもの連絡に便利だと認めつつ、相手の表情を見て譲歩したり踏み込んだりする「生のコミュニケーション」を経験させたいと言う著者の主張には説得力がある。コミュニケーションの大切さ、難しさについて考えさせられる。〔H〕



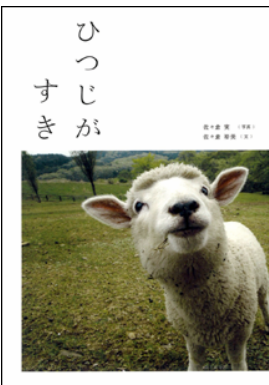
動物園革命

【480】

若生謙二 著 岩波書店

(0012211703)

目の前に、岩の上で眠るライオン、草むらにはシマウマの群れ、木をはむキリンたち。天王寺動物園の生誕的展示で生まれた景色である。会社員時代、出張を生かしアメリカの動物園の展示手法を学んだ著者が、ドーム球場計画もはねのけ、動物園職員となしとげた革命の記録。動物園を見てから読むのも、読んでから見るのも楽しい一冊。〔O〕



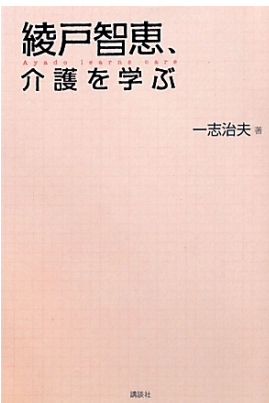
ひつじがすき

【645】

佐々倉裕美、佐々倉実 共著 山と溪谷社

(0011623905)

帯に「あなたも羊飼いになる？」とあったが、もちろんこの本1冊読んだところでなれるはずもない。しかし、私達人間の消化できない牧草を食べて、肉や乳や毛や皮を提供し、さらには観光牧場で「癒し」まで与えてくれるこの家畜の魅力を知るには充分。写真の美しさに気を配った本作りはこの出版社ならではの。〔I〕



綾戸智恵、介護を学ぶ

【767.8】

一志治夫 著 講談社

(0012207303)

綾戸智恵の生活は変化しっぱなしだった。離婚、子育て、乳がん、遅咲きの歌手デビュー。やっと落ち着いたところで、母親の介護がはじまります。音楽活動とバランスを保ちながら、「親の面倒は自分がすべてする」と抱え込み結局、自分も倒れてしまう。2章からは、これからどう介護と向かい合っていけばいいのかを、3人の専門医と対談で語っています。〔O〕



『夫婦善哉』『アド・バルーン』

【文庫本/Fオタ】

織田作之助 著 JTB パブリッシング

(0011986579)

織田作(オダサク)とも呼ばれ、没後64年を経ても今なお親しまれている著者の代表作2点です。達者な蝶子とたよらない柳吉の夫婦話と、落語家の息子十吉の放浪話は、それぞれ昭和15年と同21年の作品ですが、描かれたなにわの男女の機微や懐かしい風情は、今にも生きる大阪の姿です。登場人物や舞台背景、著者の人生などを解説した「旅訊」と文学散歩地図が付き、散策して作品世界に浸るのにも最適です。〔T〕



鼠 一鈴木商店焼打ち事件一

【Fシロヤ/ネス】

城山三郎 著 文藝春秋

(0070017823)

大正時代、神戸に本店を置く鈴木商店という会社があった。いわゆる米騒動で焼打ちにあった会社である。著者は、なぜ鈴木商店が焼打ちにあったのかを当時を知る関係者を訪ね歩きながら、金子直吉という大番頭とロンドン支店長の高畑誠一との関係を中心にして鈴木商店という三井物産をも売上げでしのいだ会社の実態を明らかにしていく。日本の資本主義の歩みを知る上で興味深い小説である。〔N〕



蝉しぐれ

【文庫本/Fフシサ】

藤沢周平 著 文藝春秋

(0000196043)

時は江戸。少年、牧文四郎の父は藩から切腹の処分を受ける。また、幼なじみの「ふく」は藩主の側室となってしまう。やがて時は流れ、藩の派閥の争いが激化。文四郎や友人も抗争に巻き込まれ、「ふく」との思いがけない再会の機会が訪れる。おなじみ海坂(うなさか)藩を舞台に描かれる藤沢文学の最高峰と言うべき傑作。〔M〕

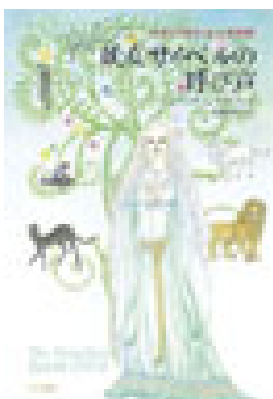


船に乗れ! 1・2・3

【文庫本/Fフシタ】

藤谷 治 著 ポプラ社 (0012249132、0012249134、0012249136)

この本に船は出てきません(笑)。高校音楽科時代を回想する話です。思い出ってたどればたどるほどささいなことまで浮かび上がってきますが、本3冊になるとは「どないやねん」という感じです。自分が世界の中心だと思い、その可能性を信じられていたころを大人になって振り返ることの切なさにたまらなくなる小説です。〔M〕



妖女サイベルの呼び声

【Nマキリ/ヨウ】

パトリシア・A・マキリップ 著
佐藤高子 訳 早川書房

(0070041403)

偉大な魔術師の娘サイベルは、エルド山の奥でただ一人魔術修行に励んでいた。しかしある騎士が赤子を連れてきたことにより、否応なしに国の王位継承争いに巻き込まれ、人の世の愛と憎しみを知ることになる。静謐で美しい綴(つづ)れ織のようなイメージがあふれる世界の中、一人の女性を通して、愛と赦しとは何かが描かれたファンタジー。岡野玲子により漫画化された『コーリング』もお薦め。〔H〕



ともだちは海のおい



【Fクトウ】

工藤直子 作 長 新太 絵 理論社

(0010836862)

星がいっぱいの夜、さびしいくらい静かな海で、いるかとくじらは出会った。お茶と体操が好きないるかと、ビールと本が好きなくじらが、縄跳びをしたり、人魚に会いに行ったり、哲学について考えたりする。お互いをたいせつに思い、尊重しあうふたりのようすを、掌編と詩を交えて描く物語。ゆったりと流れる時間に、海の大きさを感じる。〔S〕



ラモーナとおかあさん

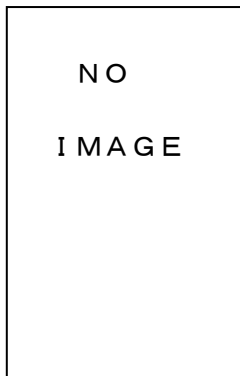


【Nクリア】

ベバリイ・クリアリー 著 松岡享子 訳
アラン・ティーングリーン 絵 学研

(0010201864)

失業していたおとうさんが仕事を見つけ、共働きになったクインビー家の生活は一変します。「だれもあたしを愛してくれない」と悩む7歳半のラモーナの心情を日常のありふれたシーンを通して丁寧に描きます。子どもの繊細な気持ちをたくみにすくい取るエピソードに深く共感させられます。親子で読んでほしいシリーズです。〔M〕



团圆 (tuan yuan)



【P-YU//<CHI>】

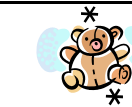
余丽琼 文 朱成梁 图 明天出版社

(0511979872)

仕事で一年中家を離れているお父さんが、旧正月に帰ってきました。私はうれしくて、かけ寄って抱きつきました。中国の小さな女の子が、旧正月のわずかな間、父親と一緒にいる喜びをあたたかく描きます。おまんじゅうに幸運のコインを入れる風習なども興味深い一冊です。日本語版は出版されていませんが、絵だけでも内容がわかります。〔A〕



イモムシかいぎ



【Pイチイ】

市居みか さく・え 小学館

(0011513054)

きょうはイモムシかいぎの日。話したいことを書いたはっぱのメモを片手に、イモムシたちの会議は始まります。誰(だれ)が何を言っても「ソウデスナ ソウデスナ」。そのころ起きたねぼすけのネルチ。ネルチは会議に間に合うのか? はっぱのメモの意外な利用法とは? 「ソウデスナ ソウデスナ」の相づちが心地よく、一緒に口ずさみたくなる絵本です。〔S〕



しろいうさぎとくろいうさぎ



【Pウイリ】

ガス・ウィリアムズ ぶん・え
まつおか きょうこ やく 福音館書店

(0000229964)

「いつも いつも、いつまでも、きみといっしょにいられますように」と願ったくろいうさぎ。同じ気持ちだったしろいうさぎ。2匹は月明りの中で結婚式を挙げます。子供の頃、落ち着いたやわらかい雰囲気のお気に入りでした。今は、そのやさしい愛情の物語が大好きです。結婚する友人にプレゼントしたい。そんな一冊です。〔C〕



あるはれたひに —あらしのよりにシリーズ 2—



【Pキムラ】

きむら ゆういち 作 あべ弘士 絵 講談社 (0010491265)

おたがいの正体を知らぬ間に一夜をともにしたふたりは「あらしのよりに」をあいことばに、晴天のもと約束通りふたび出会う。ヤギとオオカミ、相容れるはずのない事実を知ってしまっても、ともだちでいられるのか。ぎこちなくもじれたいピクニックはあまい結末を生む。種族を超えた禁断の友情シリーズ全7作の2作め。〔S〕



はせがわくんきらいや



【Pハセカ】

長谷川集平 著 ブッキング

(0010576207)

「ぼくははせがわくがきらいや、なにしてもへたやしっこわるい。」障害を持つ長谷川くんにぶつかり寄り添う「ぼく」の本音が大阪弁で語られ、根底にある優しさに魂が揺さぶられる。墨で書きなぐったような絵や文字も強烈な印象を与える。大人にもお勧めの絵本。1976年創作絵本新人賞受賞作。著者20歳の作品、数度絶版になるも2003年に復刊。〔K〕



はたらきもののじょせつしゃけいていー



【Pハトン】

ばーじにあ・りー・ばーとん ぶん・え
いしい ももこ やく 福音館書店

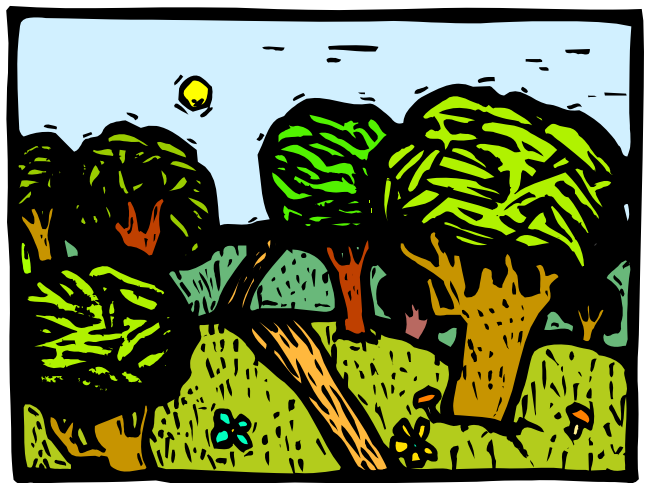
(0000226316)

主人公のけいていー(KATY)は、キャタピラがついている、赤い立派なトラクター。普段は地道に工事などをしていますが、雪が降ると、除雪機をつけて雪をかきのけます。そんなけいていーの、ある大雪の日の大活躍の様子がていねいに描かれています。仕事を通じて人の役に立つすばらしさや、「いざという時に備える」ということが何なのかを感じとれる絵本です。〔S〕

はぐくみの森

森は多くの生き物の成長を見守っています。また、森そのものも成長していきます。

子育てなど子どもの成長に関する本をここでは紹介します。





えほんのせかい こどものせかい

【019. 5】

松岡享子 著 日本エディタースクール出版部

(0000264822)

著者はかつて大阪市立図書館に勤め、その後東京で家庭文庫を開きました。その経験に基づいて、子どもと本について、ユーモアを交えてわかりやすく書かれた文章を集めた本です。付録として、グループの子どもたちに読み聞かせるコツや、読み聞かせに向く絵本の紹介も載っています。子どもと本に関心のある方に、特にお薦めします。〔S〕



子どもと楽しむ「遊び」のヒント

【379. 9】

早未恵理 著 飛鳥新社

(0011419060)

子どもと遊ぶのは難しいと思われたことはありませんか。この本では、著者が3人の子育てをする中で楽しんだ遊びがたくさん紹介されています。公園で子どもが拾った木の棒を使っての探検など、どれも手間もお金もかからないものばかりです。愛らしくユーモラスなイラストからも子どもだけでなく大人も楽しめる遊びの魅力が伝わってきます。〔H〕



センス・オブ・ワンダー

【404//1996】

レイチェル・カーソン 著 新潮社

(0050026484)

題名は「神秘さや不思議さに目を見はる感性」のこと。『沈黙の春』で人々の目を環境問題に向けさせた著者が、この遺作では、米国メイン州での自然とのふれあいの経験を交えて、人の成長のためには、「感じる」ことが「知る」ことよりもずっと重要なのだと説く。時々心静かに読み返したくなる1冊。図書館には、写真だけ異なる佑学社(ゆうがくしゃ)の旧版(絶版)もあります。〔S〕



家族の笑顔が見たいから

—わが子と学ぶ“食”の知恵—

【498. 5】

堀江ひろ子 著 佼成出版社

(0011718935)

「心のこもったおいしい料理が食卓にあれば、自然に会話も弾み笑顔が出て家族が幸せになれるのです。」料理研究家として活躍する著者が、自身の親子四世代での経験から、子育て中のお父さんお母さんに向けて、食の知恵を伝授してくれます。充実した生活を送るために、無理をせずゆとりをもち、楽しみながら食の大切さに向き合える一冊です。〔N〕



大丈夫やで

ーばあちゃん助産師(せんせい)のお産と育児のはなしー 【598.2】

坂本フジエ 著 産業編集センター

(0012285503)

和歌山県に住む著者は、キャリア66年の現役助産師。取上げた赤ちゃんは4,000人近い。「赤ちゃんは生まれ時を自分が知ってるもんや。」「お産は医師のもんやない、赤ちゃんのもんや。」などのメッセージに添えて、妊娠初期から出産、産褥期から子育ての時期に適したアドバイスが記されている。自然の力に任せて命を繋いでいくことの大切さがしみじみと伝わってくる。〔Y〕



私は赤ちゃん

【599//1979】

松田道雄 著 岩波書店

(0070109562)

若い夫婦に初めて産まれた赤ちゃんの1歳までの成長の様子を、様々な出来事を交え、物語仕立てで語ります。出版から時を経て子育て情報としては古くなったものもありますが、著者の説く数値ではなく子ども自身をしっかり見るものの大切さはどの時代にも通じるものであり、注がれる温かい目は、子育てへの不安を和らげてくれます。〔K〕



小さなユリと (「現代の詩人 4 黒田三郎」所収)

【911.56//S1:4】

黒田三郎 著 中央公論社

(0070001078)

著者夫人が結核で入院したときの、三年保育の娘ユリとの生活の中での詩12篇です。ユリを幼稚園に送る、夕食を作ってユリと食べる、ユリを連れて夫人に面会に行く……などの風景や思いを易しい言葉で描いています。中でも『夕方の三十分』は、オトチャマとユリとのやりとりに、おかしいけれども心温められる1篇です。〔M〕

創造する森

森は美しい姿や不思議な姿、考えもつかない姿を形づくりします。

新しいことに力を注いだ本やこれまでにない発想で書かれた本をここでは紹介します。





大阪の橋ものがたり

【515】

伊藤 純、橋爪節也、船越幹夫、八木 滋 著 (0012065127)
創元社

「八百八橋」と呼ばれるほど多くの橋が存在している大阪。本書は、東淀川区の瑞光寺にある鯨の骨で作られた雪鯨橋(せつげいばし)や、川ではなく電車が流れる阿部野橋など、88の多種多様な橋が紹介されている。随所にちりばめられた写真や図版、4人の著者の博識で巧みな文章に、知的好奇心が掻(か)き立てられ、大阪の町を違った面から発見することができる。〔I〕



はじまりは大阪にあり

【602.1】

井上理津子 著 筑摩書房 (0011493237)

私たちがよく利用するものの中に、大阪発祥のものがたくさんあります。本書ではベルトコンベヤーに着想を得た回転寿司、板チョコを参考にした折る刃式カッターナイフなど計30の事物を紹介します。いずれも創業者の努力やひらめきから生まれたものですが、世に広まるまでには幾多の試練がありました。身近な物事に隠された熱い人間ドラマに胸が躍ります。〔M〕

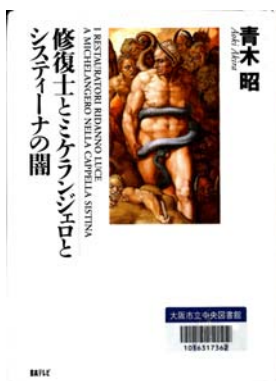


春夏秋冬 (はるなつあきふゆ)

【723.1//1993】

香月泰男 絵と文 谷川俊太郎 編 (0000355266)
新潮社

第二次世界大戦でシベリアに抑留され、その過酷な体験に基づいた「シベリア・シリーズ」で知られる画家の画文集。彼は終戦後、故郷の山口県三隅(みすみ)町で身近な自然や日常も多く描いていた。小さな花や虫たち、取れたての野菜などの絵に添えられた言葉は、画家の文章から詩人が選んだものだ。画家の、命への深い思いが、溶け合った絵と文から立ち昇る。〔C〕



修復士とミケランジェロとシスティーナの闇 (やみ) 【723.37】

青木 昭 著 日本テレビ放送網 (0010060882)

システィーナ礼拝堂のミケランジェロによる壁画は、14年に渡る修復作業により1994年甦(よみがえ)った。その記録を任されたTVプロデューサーによるこの書は、4人の修復士たちが当時の画面、色彩を忠実に、鮮やかに再生させた過程を詳細に描く。400年前のミケランジェロに寄り添うように作業を進める彼らの敬虔(けいけん)な気持ちに心打たれる。〔T〕



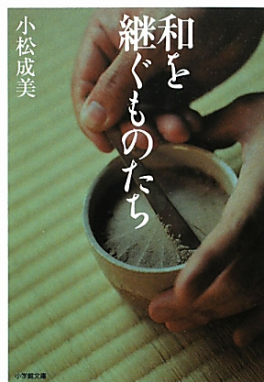
私は虫である ー熊田千佳慕の言葉ー

【726】

熊田千佳慕 著 求龍堂

(0012055178)

プチファーブルと称され 98 歳まで生涯、虫や花を描き続けた童画家の珠玉の語録集。蝶の鱗(りん)粉にいたるまで丁寧に描かれた作品はたゆまぬ努力と観察のなせる業。創作にかける気概や、慎ましやかな「足るを知る」暮らしの哲学に感服する。また小さき生き物の豊穡の世界と、生命賛歌の愛情あふれる言葉に安らぎを覚える。〔N〕



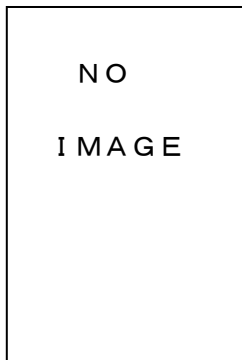
和を継ぐものたち

【750】

小松成美 著 小学館

(0012162075)

棋士、篠笛(しのぶえ)奏者、扇職人、鶴匠(うしろう)など様々な分野の「和を継ぐものたち」。彼ら22人にインタビューした著者は、「日本を示す職業にこそこの国の魂が込められている」という。伝統文化の歴史や、技法などとともに語られる彼らの生き方は、いずれも伝統を受け継ぎながらも、未来を見据えている。知っているようで知らない世界への興味がかき立てられる一冊。〔H〕



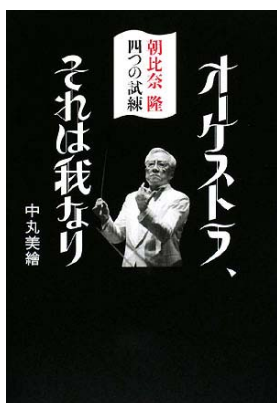
色々な色 ーColors of natureー

【757】

ネイチャー・プロ編集室 構成・文
光琳社出版

(0000590863)

私たちは、様々な自然の色を、暮らしの中に取り入れてきました。自然の風物を由来とする色の名前そのものも、微妙な色の違いも、意識するほどに、味わい深く感じられます。「虹の章」で始まるこの本は、美しい写真とともに、多方面からの色の話が収められています。『色の名前』で角川書店から再版されています。〔K〕

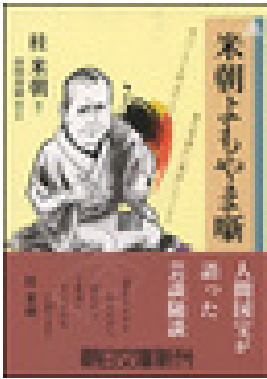


オーケストラ、それは我なりー朝比奈隆四つの試練ー【762.1】

中丸美繪 著 文藝春秋

(0011727783)

戦後大阪の音楽文化を創造した大阪フィルハーモニー交響楽団の指揮者を、楽団創立以来 55 年間勤め上げた朝比奈隆。孤独な少年時代を過ごし、高等学校時代はサッカーの名選手、芸術系の大学ではなく法学部出身で、団員からは「オッサン」と呼ばれていた……など、偉大なるマエストロにして、実に人間味あふれる姿を、インタビューを通じて浮かび上がらせている。〔E〕



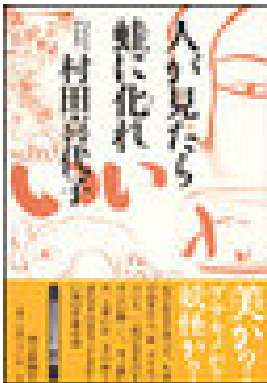
米朝よもやま噺

【779】

桂 米朝 著 朝日新聞社

(0011549615)

人間国宝であり上方落語中興の祖である著者の、ラジオ番組での語りを新聞連載したもの。噺（はなし）は昔の芸人、演芸場の雰囲気から最新の襲名事情まで変幻自在、まさに「チビチビやりながら」聴く体の本だ。だがその底辺には、落語に限らない演芸の衰退を憂え、未来につなぐ心意気が太く流れる。芸を残すことの難しさ、文化継承の在り方をイキに伝える本。〔M〕



人が見たら蛙に化(な)れ

【Fムラタ】

村田喜代子 著 朝日新聞社

(0010188152)

荒田のドロボー市で、優品の元禄人形を競り落とした建吾。クズ陶器を包んでいた李朝民画を見つけた李子。女を連れてお宝盗掘の旅をする萬田。贋物・ゲテモノが暗躍する骨董(とう)業界を舞台に、欲と美への執着にとりつかれてうごめく人々を描く。わかる人にはわかるが、わからない人にはわからない、美という謎を問いかける本。〔H〕



詩のころを讀む



【900/シノ】

茨木のりこ 著 岩波書店

(0070007252)

「私を幾重にも豊かにしつづけてくれた詩よ、出てこい！」と呪文を唱えて心に浮かんだ詩を、若い世代に向けてユーモアをこめて綴った書。著者と同時代を生きた詩人たちが、生まれて、じたばた生きて、別れていく間のできごとを豊かな想像力で言葉にした詩が数多く紹介されている。〔O〕



じごくのそうべえ



【Pタシマ】

—桂米朝・上方落語・地獄八景より—

田島征彦 作 童心社

(0000173913)

軽業師のそうべえが綱渡りの最中に綱から落ちて、地獄へ行くはめに。途中出会った山伏と医者と歯科医と連れだって地獄巡りがはじまります。3代目桂米朝(かつらべいちょう)の十八番、上方落語「地獄八景亡者戯」を題材に描かれています。ちょっと長めの絵本ですが、子どもたちをひきつける笑いがいっぱい。落語を聞いて読むもよし、読んで落語を聞くもよし。大人も一緒に楽しめる一冊です。〔T〕

時を刻む森

森ではゆったりと時間が流れ、木々は年輪を刻みます。

時間の重みを感じさせる本や歴史に学ぶ本をここでは紹介します。





ローマ人の物語 1 ローマは一日にして成らず 【232】

塩野七生 著 新潮社 (0000268036)

紀元前 753 年建国とされる古代ローマの創成期から共和政、帝政へと巧みに政体を変えて発展し、地中海世界の覇者となり衰亡するまでの 1300 年の歴史を、膨大な文献を基に著者独自の解釈を加えて丁寧に描いた歴史物語。今日、世界遺産として目の当りにする遺跡とそこに生きた人々が織りなす幾多の物語を著者が結び読者を誘う秀逸の大作。〔O〕



新編愛情はふる星のごとく 【B オサキ】

尾崎秀実 著 今井清一 編 岩波書店 (0010514991)

太平洋戦争開戦直前にゾルゲ事件のスパイとして捕らえられ、1944(昭和19)年巣鴨拘置所で死刑となった、元朝日新聞記者で中国問題の論客である著者が、獄中から家族に宛てた書簡 120 通余を収録している。日々の出来事や内外情勢、家族への想いや独自の死生観が綴られ、著者の人間的魅力に溢れる本書は、戦後まもない 1946(昭和 21)年に発行された。〔M〕



森琴石(もりきんせき)と歩く大阪
—明治の市内名所案内— 【291. 63】

熊田 司 編 伊藤 純 編 東方出版 (0011899833)

明治時代の大阪で、地図や本の挿絵に精緻(せいち)な銅版画を描いた画家、森琴石。彼が描いた名所絵の地 109 ヶ所を、現代大阪の学芸員ら 15 人が案内する。福島区の五百羅漢や、天満橋を二つに割った将棊島(しょうぎじま)など、失われた明治の光景を現代の写真等と比べて見るのは感慨深い。うんちく満載の案内文も、個々の書き手の思いが出ていて面白い。〔K〕



散歩のとき何か食べたくなって 【596. 04】

池波正太郎 著 新潮社 (0010521498)

「鬼平犯科帳」「剣客商売」「仕掛人藤枝梅安」など、池波作品に登場する食べ物シーンに、生唾(なまつば)をゴクリとされた方におすすめするエッセイ。池波さんのお店への愛着や、味に対する思い入れが詰め込まれており、それをあの絶妙な会話文と、味わいのある文体で読ませてくれるのだからたまりません。昭和の情景と共に、懐かしい味をお楽しみください。〔W〕



昭和が明るかった頃

【778.21/シ】

関川夏央 著 文藝春秋

(0010421432)

昭和30年代、庶民の娯楽の中心は映画だった。映画会社「日活」の盛衰と吉永小百合、石原裕次郎など日活映画に出演した女優、俳優たちの人間模様を描くことにより、高度経済成長前期であった当時の世相を浮き彫りにする。映画史としても世相史としても愉しめる一冊。〔N〕



西夏文字 - その解読のプロセス -

【829.32】

西田龍雄 著 紀伊国屋書店

(0000376105)

11世紀から二百年ばかり、中国西北部の乾燥地帯に存在したオアシス国家、西夏王国。ジンギス汗率いるモンゴル帝国軍に敗れ、西夏文字と呼ばれる漢字に似た独自の文字を残し、忽然(こつぜん)と砂漠に消えた。長らく未解読であった西夏文字を解いた言語学者がわかりやすく解説する。〔S〕



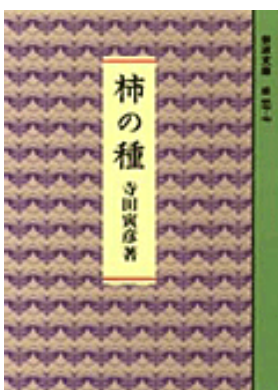
大阪おもい

【Eツホウ】

坪内祐三 著 ぴあ

(0011503040)

東京生まれ東京育ちの著者が、大阪人でも知らないような粋な「大阪」を紹介する。大阪ゆかりの食べ物や文学等が魅力たっぷりに表現され、思わず食べたくなったり、読みたくなったりする。雑誌連載の2作目となるが、著者の大阪に対する情報や思いが深まっていて、前作よりさらに濃密な「大阪」が味わえる。〔T〕



柿(かき)の種

【Eテラタ/カキ】

寺田寅彦 著 岩波書店

(0000546765)

夏目漱石の愛弟子で物理学者、随筆家としても有名な著者の小品集。女の子をおぶった男に会った話など、どの作品もさりげないが心に沁(し)みる。関東大震災後に記されたものもあり、大正・昭和初期の空気が伝わってくる。序に「なるべく心の忙しくない、ゆっくりした余裕のある時に、一節ずつ間をおいて読んでもらいたい」とある。味わい深い文章を、心静かに楽しみたい。〔I〕



人生はうしろ向きに

【Eナンシ】

南條竹則 著 集英社

(0012279011)

「何事も良い方には変わらない」。ふと友人が言った言葉が、時がたつにつれしみじみ腑(ふ)に落ちてきたと著者は言う。未来はあてにならないのに対し、過去は確定した財産、過去を大切にしようしろ向きに生きるのが賢明だと説き、書物を通して出会ったうしろ向きの達人たちを紹介する。なるほど、私も励ましてくれる人を本の中に求めて、もっと読書しようかな。〔O〕



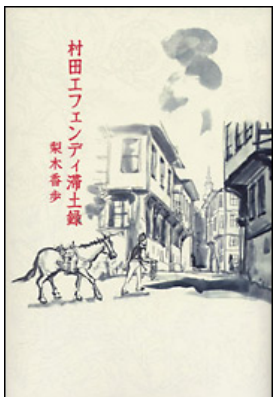
西行花伝

【Fツシ/サイ】

辻 邦生 著 新潮社

(0000446645)

人間は想像力によって生きることの喜びを見いだせる、という一貫したテーマで小説を書いた著者の晩年の代表作だ。平安時代の歌人西行を、保元の乱で失脚し流刑となる崇徳院との交流などを通して、理想を求め行動する人物として描いている。出家前は忠実に院御所を護衛する北面の武士だった西行が、覇権争いをする貴族や武士に困惑する姿に、時代の移ろいを感じる。〔S〕



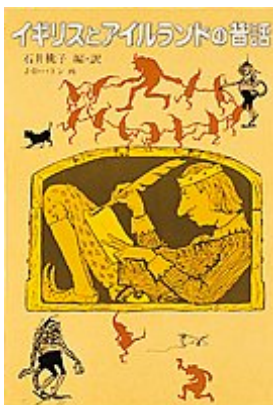
村田エフェンディ滞土録

【Fナシキ】

梨木香歩 著 角川書店

(0010750144)

19世紀末、トルコへ留学した考古学研究者の青年が、個性豊かな人々と出会い、国や主義や民族も超えた友情を育んでいく姿を描いた青春小説。異国情緒あふれる町の様子や、日々起きる様々な出来事が日記風に軽妙な文章でつづられる。やがて友人たちは戦争に巻き込まれ悲しい運命をたどるが、彼らの絶えることのない心の絆に胸が熱くなる。〔K〕



イギリスとアイルランドの昔話



【N】

石井桃子 編・訳 J・D・バトン 画
福音館書店

(0000226680)

ちいちゃいちゃい、三びきのクマの話など、今も語り継がれている昔話をあつめた短編の作品集。不思議な話、動物の話、言葉遊びの話など、お話はそれぞれに魅力的だ。文章にはときおり古い言葉も混じり、聞き手に昔の時代へと思いをさせさせる。そして、訳者の語り聞かせるような文体でさらにお話の世界に引き込まれていく。大人も楽しめる昔話の世界に時間を忘れてひたってみたくなる。〔F〕

書名索引

あ	あがりめ さがりめ	13	蝉しぐれ	27
	綾戸智恵、介護を学ぶ	26	センス・オブ・ワンダー	31
	あるはれたひに	29	た 大丈夫やで	32
	アンジュール	10	ちいさいおうち	12
	イギリスとアイルランドの昔話	40	小さなユリと(現代の詩人 第4巻)	32
	いとしい漫才の世界	9	通勤電車でもむ詩集	9
	イニユニク ー生命ー	8	鶴見良行著作集9 ナマコ	25
	イモムシかいぎ	28	デルフィニア戦記 全 18 巻	17
	色々な色	35	動物園革命	26
	インド綿の服	9	時の旅人	10
	ウォッチャーズ 上・下	18	ともだちは海のおい	28
	永遠の0(ゼロ)	23	な 長い長いお医者さんの話	10
	えほんのせかい こどものせかい	31	二十一世紀に生きるきみたちへ	19
	おおきな木	11	鷹・久坂葉子伝	17
	大きな森の小さな家	10	鼠	27
	大阪おもい	39	は はじまりは大阪にあり	34
	大阪の橋ものがたり	34	はせがわくんきらいや	29
	オーケストラ、それは我なり	35	はたらきもののじよせつしやけいていー	29
か	海中顔面博覧会	22	花さき山	11
	柿(かき)の種	39	巴里の空の下オムレツのにおいは流れる	8
	家族の笑顔が見たいから	31	春夏秋冬(はるなつあきふゆ)	34
	奇蹟(きせき)の画家	8	光が照らす未来	16
	きょうの猫村さん 1	8	光車(ひかりぐるま)よ、まわれ!	19
	銀河英雄伝説 1 黎(れい)明(めい)篇(へん)	17	ひつじがすき	26
	禁じられた歌	16	人が見たら蛙に化(な)れ	36
	「雲」の楽しみ方	22	ファミ通町内会ー1986~2000ー	25
	クラスでケータイ持ってないの僕だけなん	25	富士日記 上・中・下 (武田百合子全作品	9
	だけど		1・2・3)	
	ゲド戦記1	20	船に乗れ! 1・2・3	27
	ケーブ・ベアの一族 上・下	18	分婉台(ぶんべんだい)よ、さようなら	22
	高熱隧道	18	米朝よもやま噺	36
	幸福のリアリズム	15	ポケット詩集 1・2・3	17
	子どもと楽しむ「遊び」のヒント	31	ぼちぼちいこか	12
	これはのみのぴこ	12	ま <民主>と<愛国>	25
	ごろはちだいみょうじん	12	村田エフエンディ滞土録	40
さ	西行花伝	40	夫婦善哉 アド・バルーン	26
	聖(さとし)の青春	23	メタファー思考ー意味と認識のしくみー	16
	さよなら妖精	18	メント・モリ	22
	散歩のとき何か食べたくなって	38	森琴石(もりきんせき)と歩く大阪	38
	思考の整理学	15	や 屋久島 ー樹と水と岩の島を歩く	23
	じごくのそうべえ	36	夢を掘りあてた人	19
	詩のころを読む	36	よあけ	11
	修復士とミケランジェロとスティーナの闇	34	ようこそ、おまけの時間に	19
	(やみ)			
	昭和が明るかった頃	39	妖女サイベルの呼び声	27
	しろいうさぎとくろいうさぎ	29	46 年目の光	15
	人生はうしろ向きに	40	ら ラモーナとおかあさん	28
	新編愛情はふる星のごとく	38	ローマ人の物語 1	38
	人類の月面着陸はあったんだ論	16	わ 私は赤ちゃん	32
	すてきな三にんぐみ	11	私は虫である	35
	光草(ストラリスコ)	23	和を継ぐものたち	35
	西夏文字 ーその解説のプロセスー	39		
	生命と地球の歴史	15	団圓(tuan yuan)	28



「ようこそ 書物の森へ - 大阪市立図書館司書 101 人が選んだ 101 冊の本 - 」

編集・発行：大阪市立中央図書館

発行日：2011（平成 23）年 11 月 1 日

大阪市立図書館 90 周年・中央図書館 50 周年記念事業プロジェクトチーム

・「ようこそ 書物の森へ」編集委員

中央図書館：宮田英二、田野晶子、福富典子、野村薫、澤谷晃子、
和田充洋、岡本絵美

旭図書館：藤井直美

鶴見図書館：井上聡